

1. 活動の概要

6月13日（金）、益田市立横田中学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。担任の先生から埋文職員を紹介していただいた後、横田中学校周辺にある遺跡から縄文時代や弥生時代の生活の様子について勉強しました。まず、自分たちの住む地域にどれくらい遺跡があるのか確認し、それがいつ頃のものか、また、どのような食べ物を食べていたのかを学びました。縄文時代には現代ではあまり食べられない「どんぐり」を主食としていたことに驚き、その後体験する「どんぐりハンバーグ」の味に興味津々でした。

いよいよ古代食作りです。今回のメニューは「赤米の炊飯」と「どんぐりハンバーグ汁」を作ります。みんなやる気満々でどんぐり粉を入れた挽肉をおもいきりこねたり、汁に入れる野菜を切ったり、赤米炊飯の火加減を見たりと大忙しでした。

さて、できあがった古代食の試食です。最初は恐る恐る口に運んでいましたが、一口食べてみると、みんな一斉に「おいしいー」といって一気に完食しました。

2. 活動の様子



土器ってこんなんだー



よく見ててよ、卵を割ります



ハンバーグできた



赤米はどうか？

おいしー！！



3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから

- どんぐり汁を自分たちで作ったことがよかった。
- 料理をしたことがよかった。
- 火起こしの最後に火がついたことがうれしい。

2) 担任の先生から

- 最初のスライド（パワーポイント）が横田中学校向けに作られていたことが良かった。
- 本物の土器を見て、触れることができたのが良かった。
- 古代食、火起こしといった体験活動が良かった。

3) 埋文センターから

みんな古代食作りは初めてで、どんな味がするのか？想像しながら、楽しそうに作っていました。試食の感想は「おいしかった」と言い、「どんぐりハンバーグ汁」と「赤米」が意外においしかったことに驚いていました。実際、本当においしかったです。